男女共同参画情報誌

りぶる さっぽろ

特集
仕事から「志」事へ

2012 Vol. 30 夏

仕事から「志」事へ

女性起業家に聞きました

事に仕える「仕事」から、事を志す「志事」へ。自分らしい生き方、働き方を求めた女性たちが起業という形で、それを現実にしようとしています。今回は札幌で起業という働き方を選んだ3名の女性にインタビューをおこないました！

主婦ラボ（※）

WEB site

北海道の主婦が発信・情報交換するコミュニティサイト。ただ今、モニター募集中です。

http://syuhu-labo.net

株式会社 エルアイズ　代表取締役社長　山本 亜紀子 さん
Yamamoto Akiko

社会には女性にとってのチャンスが数多く存在している。

現在の仕事内容

女性の視点を活かしたマーケティング・コンサルティングを行っています。女性が感じている「もっとこうだったらいいのに」という生の声を集め、わかりやすくデータ化した上で、女性をエンドユーザーに持つ企業にニーズやウォンツを伝え、商品・サービスの改善の戦略を提案しています。

起業という選択をしたきっかけ

小さな子どもを育てながら就職活動を続ける中でフルタイムで働くことの難しさを痛感しました。就職活動中は子どもをあずけていたかったのですが、保育所の入所の順番は既に働いている親を持つ子が優先となっており、子育て中は就活すら満足にできない状況でした。自分にできることや、使える時間、えんぴつ1本で始められるビジネスと絞っていき「女性視点のコンサルタント業」を個人事業で始めることにしました。

実際に、起業してみて

実際の仕事では、『女性顧客の代表』として意見をぶつけるわけですが、メーカーの商品開発担当者や流通のバイヤーは、やはりその道のプロですから一筋縄ではいきません。男性と女性では好む味も買いたくなる見た目も大分違いがあるのはわかっているのですが、担当者が納得する裏づけや具体性を持って提案する必要がありました。当社のモニターサイト『主婦ラボ』もそんな経緯で運営を始めました。企業側は女性視点マーケティングを取り入れることによって、大半のお客様である女性顧客のニーズを早く、そしてより多く得ることができると喜んでいただいています。作り手・売り手である企業の担当者のほとんどは男性ですので、女性にとってのビジネスのチャンスは数多く存在しているということでもあると考えています。

今後の展望と起業を目指す女性へ一言

「主婦ラボ（※）」のモニター登録数を現在の800人から1万人にすることが当面の目標です！「起業」と聞くと、あまりにも大きなものに感じてしまい、一歩を踏み出す勇気が出せないかもしれませんが、思っているだけでは何も始まりません！小さな行動をたくさん起こすことで、いずれは大きなことにつながって行くと思います。まずは、一歩を踏み出してほしいと思います。

自分が動いたこと、したことが仕事の結果につながっていく。

みんなのことば
代表 千葉 里英子さん
Chiba Rieko

みんなのことば

WEB site

翻訳を通じてお客様と
世界をつなげます!
～ Join the global village! ～

http://www.minnanokotoba.com

現在の仕事内容

「北海道の魅力の発信と国際化」を目的に、ウェブサイトやパンフレット、チラシなどの翻訳をはじめ、効果的な情報発信の方法をご提案しています。また、翻訳だけではなく、海外のウェブサイトを見ながら情報発信を学ぶ勉強会なども開催しています。

起業という選択をしたきっかけ

民間の語学学校で英語を教える仕事をしていました。その後、大学やNPO法人で働くうち、家庭を持っても続けられる仕事をつくりたいと思うようになりました。そんな時に、北海道社会的企業・起業プランコンペに採択をしていただき、今年(平成24年)2月に起業。起業時に受講した札幌市男女共同参画センターのソーシャルビジネス講座では、同じく起業を志す方々と出会い、今も多くの気づきをいただいています。

実際に、起業してみて

自分が動かないと何も始まらないということを実感しています。逆に、自分が動いたこと、したことが仕事の結果につながります。人との出会いから仕事につながることも多いので、人との出会いの場を大切にしています。なにより、これまでの職場の上司や同僚、翻訳者である友人たち、家族、多くの人々の協力があってこそ今があると感じています。

今後の展望と起業を目指す女性へ一言

引き続き、北海道で活躍されている個人や団体、企業の方々、北海道の魅了を多言語で発信したいと思っている方々の応援をしていきたいです。

何かを始めたい、起業したいという方におすすめなのは、自分のやりたいことを「人に話す」こと。話すことで、新たなお話をいただくこともあるので、ぜひ想いを周囲に発信し共有することから始めてみてください。

自分らしく仕事ができています。

経理カフェ 合同会社
代表 中田 智子さん
Nakata Tomoko

経理カフェ

WEB site

お金に関する事でしたら
何でも気軽にお問合せください。

http://www.keiri-cafe.com

現在の仕事内容

経理の請負や相談など、『経理』という面から新たに夢を叶えようと事業を始めた方を応援しています。専門家とお客さんという関係ではなく、お金の問題を一緒に考え、何でも気軽に聞いてもらえる関係を築くよう心がけています。また、札幌市男女共同参画センターのチャレンジ相談の相談員も担当しています。

起業という選択をしたきっかけ

一般企業の経理を長年担当していました。知人から経理に関する相談を受けることがあり、「こんな風にお金のことについて気軽に聞けるところがあれば良いのに」と言われることが何度かありました。事業を成功させるためには、お金の動きを把握しておくことが大切なのですが、こうした相談を受ける中で経理を後回しにしている人が多いと以前から感じていました。経理を「済ませる」のではなく「知る」ことの大切さを身近な存在として伝えたいと思ったのが起業のきっかけです。

実際に、起業してみて

起業してよかったのは、なんといっても自分のペースで働けることだと思います。以前に比べて、自由に使える時間が増え、自分らしく仕事ができています。経理カフェでは、顔と顔を合わせてお話するスタイルをとっているのですが、話をしている中でふっと顔の表情が明るく変わるのがわかるんです。企業という大きな組織ではそうした小さな変化に気づくことが出来なかったので、それがとてもうれしいです。

今後の展望と起業を目指す女性へ一言

相談を受ける中で、女性の起業家は、人とつながることが上手だと感じてます。人脈をつなげていくことで、新たな事業につながる可能性もあるので、人とのつながりは大切にしていってもらいたいです。私は"ヒントのかたまり"である経理で皆さんの可能性を応援していきたいです。

仕事から「志」事へ

チャレンジスペースをリポート

札幌市男女共同参画センターでは、起業を目指す女性の学びと実践の場として、チャレンジスペースをご用意し、起業のお試しをしていただいています。出店者のみなさんは、どうしたらお客さんに喜んでもらえるのか試行錯誤しながらそれぞれの『起業』を目指して日々奮闘しています。

今回は、チャレンジスペース出店者の3名に出店からいままでを振り返ってお話いただきました。

Interview
インタビュー

梅沢 実枝 さん
Umezawa Mie

Mele Ohana

生花のようなみずみずしい美しさを備えながら、長期間楽しむことができるプリザーブドフラワーの教室を主宰ブライダルや百貨店のデザイナーとしても活動。

大迫 尊子 さん
Oseko Takako

Fairy Tale

多彩な表現ができる樹脂粘土を使ったアクセサリーやインテリア小物の製作・販売及び教室を主宰。

斉藤 まさえ さん
Saito Masae

Lemongrass

フルーツや野菜、石鹸に彫刻を施す、タイの伝統工芸「カービング」の教室を開きながら、自身の作品も販売。

――チャレンジスペースの出店から今を振り返ってみて

大迫　場所・設備ともに、理想的な環境なので、『起業の一歩』にはとてもよかったなと思います。それに、人と出会える機会がとても多くてそれがきっかけで新たな販売先を紹介してもらうこともありました。

斎藤　たしかに。一人でやっていた時にはできなかったことが多いです。チャレンジスペース出店者同士で情報交換できるのもいいですよね。

梅沢　私は、平成23年の1月にチャレンジスペースでの出店を始めたんですが、チャレンジスペース出店者第1号だったので前例もなく、相談できる仲間もいなかったので、お客さんが一人も来ない日は「この先どうしよう」と不安になることが多かったですね。

大迫　梅沢さんは、今ではたくさんのお客さんがみえていますよね。生徒さんが来なくて落ち込むこともあるけれど、最初は中々うまくいかなくても今は成功している人がいると思うと励みになります。

斎藤　本当にそう思います。

――皆さんそれぞれの今後の展望を聞かせてください。

大迫　お客さんが喜んでくれる顔を見るとこの仕事を始めて本当に良かったと実感するので、先輩方のように、ずっと続けていきたいです。いつの日か「あのFairyTaleの作品ね！」と言っていただけるように頑張りたいです。

斎藤　私の場合、カービング自体をもっともっとアピールしなきゃならないのかな？と思っています。せめて、北海道の人ぐらいには「カービング」のことを知ってもらいたいですね（笑）

梅沢　私は最近、あえて『目標』を立てないようにしています。今まで高い目標を自分に課してしまうことがあり、すぐに結果が出ないと焦ってしまう事がありました。なので、今は自分をあまり追い込まず、まず目の前にある事を一つ一つ一生懸命取り組んでいくことが、大切だと思うようになりました。

大迫　それぞれの事情に応じた働き方が理想ですね。男女共同参画センター主催の「地域で！おウチで！私らしい仕事の始め方講座」を受けて、「私らしい働き方」という言葉に勇気づけられました。他と比べる必要はなくて、状況に合った働き方が必ずあると思います。

斎藤　それぞれのペース、やり方でいいんですよね。

全員　そうですね！自分らしく頑張りましょう！

札幌市男女共同参画センター

私らしく働く！

チャレンジ・スペース

自分らしく働きたい女性の起業を応援しています。

起業をしたいと思っているけれど、一歩が踏み出せないでいる女性のために、札幌市男女共同参画センター主催チャレンジ支援事業「地域で!おウチで!私らしい仕事の始め方講座」を受講していただいた方を対象に、起業のお試しスペースを無料でご利用いただいています。チャレンジスペースでは出店者の方が日替わりで出店しています。ぜひお気軽に遊びにいらしてください!

札幌市男女共同参画センターでは、自分らしく働くために「起業」という道を選ぼうとする女性たちに対し、講座の開催、実践の場の提供、相談などの支援を行っています。

りぷるのススメ

このページではセンター職員がおススメする本や映画、料理などをご紹介します。あなたのお気に入りになれたら嬉しいです。

ESSAY

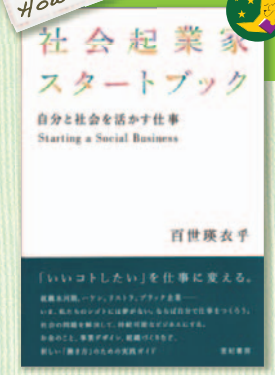
cholon book

菊池 智子　著

1,470円（税込）／主婦の友社

「チョロン」は札幌と東京・代官山にある洋服と雑貨の人気店です。手づくりの好きな一人の女性がベトナム旅行をきっかけに自分の店を持つに至ったいきさつ、海外でのものづくりや地場産業との関わり、ショップオープンから経営まで、“好き”なことを仕事にする秘訣や魅力的なショップを続けるための ヒントが詰まった一冊。雑貨好きの方にもおススメです。

How To



社会起業家スタートブック 自分と社会を活かす仕事

百世 瑛衣乎　著

1,575円（税込）／亜紀書房

「いいコトしたい」を仕事に変える。社会の問題を解決して、持続可能なビジネスにする。お金のこと、事業デザイン、組織づくりなど、新しい「働き方」のための実践的なガイドブックです。「何かをはじめたい」そんなあなたが最初の一歩を踏み出す手助けになってくれること請け合いです!

Music

Gift ～あなたはマドンナ～

土岐 麻子

500円（税込）／rhythm zone

「あなたって不思議だわ あなたっていくつなの?」というフレーズがとても印象的な、土岐麻子さんの曲です。某CMで使用されている曲なので耳にした方も多いのでは? 実はセンターでも「女性のためのソーシャルビジネス講座」で開講前に流させていただいていました。どこまでも前向きな気持ちにさせてくれる、まさにシュペリエルな曲です。

MOVIE

のんちゃんのり弁〈通常版〉

緒方 明　監督

3,990円（税込）／キングレコード

下町を舞台に懸命に生きる人の姿を描いた、ハートフルムービー!ダメ亭主に愛想を尽かし、娘を連れて実家の京島に出戻った主人公。仕事がみつからず困っていた時、娘のために作ったのり弁が評判を呼び、彼女はお弁当屋を開くことを決意します……。小西真奈美さんの好演で話題のこの映画は、きっとあなたの心にも暖かな風を運んでくれるはず。

札幌エルプラザ情報センターを知っていますか?

札幌エルプラザ内にある「情報センター」では
男女共同参画・消費生活・市民活動・環境に関する4分野の
資料を閲覧したり借りたりすることができます（ご利用は無料です）。
マークが付いているものは情報センターで
借りることができますので、ぜひ遊びに来てくださいね。

情報センターへのお問い合わせは

011-728-1223

（開館時間 9:00～20:00
貸出時間 9:00～19:45）

Recipe レシピ

札幌市内でハーブ料理研究家として活躍している
上杉美紀さんにフランス生まれのお惣菜ケーキ
「ケークサレ」のレシピをご紹介いただきました。
「サレ」とはフランス語で「塩味」という意味。
甘くない生地に肉・魚介類・野菜を加えて型で焼いた
フランスの家庭料理です。

ケークサレ Cake salé

材料（パウンドケーキ型1個分）

- 小麦粉……120g
- ベーキングパウダー……小さじ1
- 牛乳……100cc
- オリーブオイル……大さじ1
- ブロッコリー……1/4個
- 卵……2個
- 粉チーズ……大さじ2
- ハーブソルト（塩コショウでも可）……小さじ1/2
- ベーコン……3枚
- 玉ねぎ……1/4個
- 小松菜……2茎
- マッシュルームスライス……50g

※ご家庭にある野菜やお惣菜の残り物でアレンジできます

①小麦粉とベーキングパウダーを混ぜ合わせておきます。

②フランパンにオリーブオイル（分量外）を熱し、1cm幅に切ったベーコンと粗みじん切りの玉ねぎを入れ水分を飛ばしながらよく炒めます。ざっくり切った小松菜・マッシュルームを加えハーブソルトで味付けします。

③ボールに卵を溶いて牛乳を入れ①とオリーブオイル、粉チーズを入れ混ぜ合わせます。②を加え、ざっくり混ぜた後にバター（分量外）を塗ったパウンドケーキ型へ流し込みます。

④200℃に余熱したオーブンに③を入れ35分～40分焼きます。

⑤焼きあがったら手でさわれるくらいまで冷まし、型から取り出します。

※冷めてもおいしいですが、トースターなどで温めて食べると生地がふんわりとした食感になります。

ハーブ料理研究家
上杉 美紀さん Uesugi Miki

ハーブを活用したお料理やブレンドティーをご紹介し、現代のストレス社会に植物のやさしいエネルギーを取り入れ、美味しく健康になるためのお手伝いをしています。レシピで使用しているハーブソルトは「K'sハーブ」でもオリジナルのブレンドを販売しています。

http://profile.ameba.jp/green-laef/

札幌市男女共同参画センター相談窓口のご案内

札幌市男女共同参画センターでは女性のための相談窓口を開設しています。また、平成24年度からは男性のための悩み相談も開設いたしました。
相談料は無料です。各相談では専門の相談員がお話をお伺いし、秘密は固く守ります。
1人で悩まずに、新たな一歩を踏み出すきっかけとしてお話ししてみませんか。

	女性のための 総合相談	女性のための 仕事の悩み相談	女性のための 法律相談	男性のための 悩み相談
日　時	月○水木○土 10:00～12:00 ○火○○○○ 15:00～17:00 ※ただし第2火のみ 18:00～20:00	○○水○○○ 18:00～20:00	○○○○金○ 13:00～15:00 ※ただし第2金のみ 18:00～20:00	○○水○○○ 18:00～20:00 （平成25年3月まで）
相談員	カウンセラーなど（女性）	産業カウンセラー（女性）	弁護士（女性）	臨床心理士（男性）
相談方法	面談／電話（011-728-1225）	面談／電話（011-728-1227）	面談	電話（011-728-1331）
相談内容	家族のこと、夫婦のこと、恋愛、対人関係など女性の総合的な相談に相談員が面談または電話で対応します。	職場における対人関係、働き方、セクシュアル・ハラスメントなど、女性の仕事についての相談に産業カウンセラーが面談または電話で対応します。	離婚や相続など、法律的な見解が必要な女性の相談に弁護士が対応します。完全予約制なので事前にお電話でご予約下さい。 予約受付電話：(011)-728-1255	誰にも打ち明けられず、男性であるがゆえに抱え込んでしまう悩みを男性相談員が電話で対応します。

女性のためのチャレンジ相談

起業を目指す女性のための相談窓口を開設しました！

「事業計画はどのように立てるのか？」「事業を始めたいけれど、資金はどうしたらいいのか？」と起業にはたくさん課題があります。そういった課題を解決するため、札幌市男女共同参画センターでは、起業を目指す女性向けに相談窓口をご用意しています。起業に関する悩みを一人で抱え込まずに、相談員に話してみませんか？

女性のためのチャレンジ相談 相談員

中田 智子さん
（経理カフェ合同会社 代表）

太田 明子さん
（太田明子ビジネス工房 代表）

対象者：起業を目指す女性、起業して間もない女性
料　金：無料
日　時：日時は申込後、調整させていただきます。
申込み：TELまたはメールでお申込みください。
申込時に下記の項目をお知らせください。

- □ 相談希望日（第3希望まで）　□ 相談内容
- □ 連絡先（氏名、電話番号）

TEL 011-728-1255　✉ jigyou@danjyo.sl-plaza.jp

編集後記

今号は「女性の起業」をテーマにお送りしました。起業を志す女性の皆さんはとってもパワフルで前向き！わたし自身もエネルギーを分けてもらったような気がします。自分は本当にわたしらしい働き方ができているのかなぁ……などと思いつつ、この編集後記を書いているわたしです。読者の皆さんにとっての自分らしい働き方は見つかっていますか？

発行月：平成24年7月
発　行：札幌市男女共同参画センター
【指定管理者：財団法人札幌市青少年女性活動協会】

所在地：〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内
電　話：(011)728-1255　ＦＡＸ：(011)728-1229
ホームページ：http://www.danjyo.sl-plaza.jp

本誌のタイトル「りぷる」は、英語（ripple）で「さざ波」という意味です。男女共同参画の意識がさざ波のように、少しずつ広がって欲しいという想いを込めました。